施策名:芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

事業名	担当課・室名	ページ
芸術文化ゾーン拠点創出事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 3
創造県おおいた推進事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 3
芸術文化を活用した復興支援事業	芸術文化スポーツ振興課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	芸術文化ゾーン拠点創出事業		車業期間	「業期間 平成 30 年度 ~ 令和 年度			政策区分	芸術文化による創造県おおいたの推進
ず木石	女性 人に ク 次	で小別山ず未	事未朔间		双 30 年度 ~ 节和		施策区分	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課	!(室)名	芸術文化スポーツ振	長興課	評価者	芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美

[1. 現状·課題、目的]

現状 県立美術館が開館し、県立総合文化センターと合わせた芸術文化ゾーンの核が 完成。芸術文化ゾーンを中心として、芸術文化関係団体をはじめ、様々な分野の 課題 団体と連携していくことが求められている。

事業の目的

県民に優れた芸術を享受できる機会や、芸術文化と教育、産業、福祉・医療が連携した取組を 体験できる機会を提供する。

[2.事]	芝内容]												((単位:=	千円)
	活動	か名及び活	動内容				番号	主な活動の予算額	コスト		29年度(決算	30年	度(決算)	元年度(予算)
①美術館実	施補助事業						1	50,000	総コン	スト	90, 000		90,000	90	,000
芸術文化	振興財団が美術館で実施した企 主事業に対して補助金を交付	画展「国宝	医、日本の美	をめぐるー	東京国立博	物館名品	2	35,000	事業	費	85, 000		85, 000	85	5,000
②総合文化	エザ架に外して開切並と交行 センター実施補助事業 振興財団が総合文化センターで	字歩したパ	/淀「ナペラ	マノーガ	上ゲの白子	事業め 国	3		(うち一角	段財源)					
辺商店街と	振興財団が総合文化センターで 連携して実施した「HEart						4		人件	費	5, 000		5,000	5	5,000
金を交付							計	85,000	職員数	(人)	0.50		0. 50		0.50
	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価 割合	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度		評価
	美術館における企画展(自主	目標値	5	5	5				目標値						
	事業)数(回)	実績値	5	12			59%		実績値						
伯男伯倧	事未/ 数(四)	達成率	100.0%	240.0%					達成率						ا م ا
	総合文化センターにおける公	目標値	15	15	15				目標値						a
	減(自主事業)数(回)	実績値	19	14			41%		実績値						
	(ロエナベ/ 妖 (四)	達成率	126. 7%	93.3%					達成率						

「3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

廃止

	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
成果指標		目標値	500,000	500,000	500,000			平成30年秋に開催された、国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた	
	県立美術館来館者数(人)	実績値	648, 223	572,001			a	大会において、中心となる芸術文化ゾーンの美術館と総合文化センターで様々な企画展や公演を行	
		達成率	129.6%	114.4%			G.	V	い、多くの観客を集めるとともに高い評価を得て、大会の成功に貢献した。

[4. 今後の課題と方向性等] 今後の課題

・総合文化センターと県立美術館が連携したイベント等の開催など、両館による一体的な取組の実 今後の事業方針

・美術館の企画展について、「楽しく夢がある展示でワクワクした」「家族で楽しめた」「大分で これだけの作品が見られるとは」との評価の一方、「鑑賞する人の視点に立った展示の工夫が必 要」との意見への対応

今後の方向性

・より魅力的な公演、企画展の開催を支援するとともに、芸術文化ゾーンを核とした様々な分野の団体等と の連携をさらに推進

継続・見直し

終了

例外的に継続

・美術館の企画展については、多様なジャンルへの挑戦(来館者の五感を刺激する事業展開)を継続しつ つ、県民の意見を反映した企画、運営を行い、企画趣旨を明確化・周知

事務事業評価調書

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	創造県おおいた推進事業 事業期間 平成				年度 ~ 平成 30 年度	政策区分	芸術文化による創造県おおいたの推進
学 未不	別担保われている	比匹尹禾	尹未朔问!	十)及 2 1	中皮 5 中成 50 中皮	施策区分	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり
総合評	f A	終了	事業実施課	!(室)名	(室) 名 芸術文化スポーツ振興課		芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美

[1. 現状·課題、目的]

現状 課題 ている。

創造的で活力あふれる地域社会を構築するには、芸術文化の創造性を活用する ことが期待されているが、芸術文化の活用手法等の普及啓発や地域人材が不足し

事業の目的

芸術文化の活用手法等の普及啓発を進めるとともに、地域人材の育成、ネットワークの構築を 図る。

[2.事業内容]						(単位:千円)
活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①創造的地域力向上支援事業(リーディングプロジェクト支援) 別府市にて現代アートによる芸術祭「in BEPPU」「ベップ・アート・マンス」を開催	1)	101,800	総コスト	74, 272	138, 751	
②アーツ・コンソーシアム大分推進事業 アートプロジェクトに対する評価や調査・研究等を実施	2	8,000	事業費	67, 272	131, 751	
③みんなのアーツ体験事業 福祉施設等にアーティストを派遣し、ワークショップを開催	3	1, 395	(うち一般財源)	10, 542	17, 732	
④アートマネジメント人材育成事業	4	1, 355	人件費	7, 000	7,000	
アートマネジメント講座(実践編)の開催により地域とアートをつなぐ人材を育成 県内関係者が取組の発表等を行う「創造県おおいた大報告会」を開催	計	112, 550	職員数(人)	0.70	0.70	
指標名(単位) 達成度 29年度 30年度 元年度 最終達成		指標名 (単位)	達成度 29年度	度 30年度 元	E年度	以 評価 評価

7111 4	10171 L A -1001 A - 2012 A - 1 C - 11 7 A - 1010			C 1/11/11E											
	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (30年度)	評価 割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (30年度)	評価 割合	評価
	リーディングプロジェクトへ	目標値	20,000	40,000		40,000			目標値	15	4		4		
江手+	自標 の参加者数 (人)	実績値	23, 396	55,000		55, 000	90%	施設等訪問件数(件)	実績値	15	4		4	1%	
店 期 1	目標の多加有数(八)	達成率	117.0%	137.5%		137. 5%			達成率	100.0%	100.0%		100.0%] _
	芸術団体、一般県民等への成	目標値	50	100		100		シンポジウム等の開催件数	目標値	1	1		1		l a
	果報告会参加者数(人)	実績値	42	50		50	7%	(件)	実績値	2	1		1	1%	
	不 tk u 五 岁 / 加 日 数 (八)	達成率	84.0%	50.0%		50.0%		(IT)	達成率	200.0%	100.0%		100.0%		

[3. 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (30年度)	評価	事業の成果
成果指標	育成したアートマネジメント	目標値	20	5		5		国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会と連携し、特別連携事業とし
7945144141	育成したチートマネンメント 人材の数(人)	実績値	27	7		7	a	て、別府市において、「アニッシュ・カプーア in BEPPU」を開催したほか、アートマネ ジメント講座受講生が大分市や竹田市、杵築市など、各地域の取組において、企画や運営に従事し
	(内の数(八)	達成率	135.0%	140.0%		140.0%		た。

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題

・芸術文化のもつ創造性を活用した、地域づくり等の行政課題へのさらなる対応

今後の方向性

終了

継続・見直し

例外的に継続

廃止

今後の事業方針

・レガシー活用や日本博との連携等を見据え、事業内容を見直し、新事業に組み替え

事務事業評価調書

(事業実施年度:平成30年度) (評価実施年度:令和元年度)

事業名	芸術文化を活用した復興支援		車業期間	亚战 30	年度 ~ 平成 30 年度	政策区分	芸術文化による創造県おおいたの推進
ず未石	女性文化を指用し	芸術文化を活用した復興支援事業 事業期間 平成 30 年度		一大人,一大人,	施策区分	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	
総合評価	A	終了	事業実施課	(室) 名	芸術文化スポーツ振興課	評価者	芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美

[1. 現状·課題、目的]

現状 九州北部豪雨により、大きな被害を受けた日田市では、復旧は進みつつあるも のの、観光客の落ち込みが完全に回復していないなど、復興に向けては道半ばの 課題 状況にある。

事業の目的

福岡県等からの誘客・情報発信を図るために、話題性のあるアーティストを起用した特徴あるプロジェクトを実施する。

[2.事業	[[[] [] [] [] [] [] [] [] []												(単位:=	千円)
	活!	動名及び活	動内容			番号	主な活動の予算額	コス	7	29年度(決算	30年月	度(決算)	元年度(予算)
①日田市水: ・招聘ア	害復興芸術文化支援事業 ーティスト:ライゾマティク2	ス・アーキテ	・クチャー			1	21,000	総コン	スト		:	25, 950		
		ク閉会式参加	加、ミラノ万博日本館	の演出など)		2		事業	費		:	20, 950		
	平成30年10月27日(土)※		14)			3		(うち一角	段財源)					
• 高校生	所 大山ダム 向け講演会(ライゾマティクス	×代表取締役	齋藤精一氏)			4	人件費 5,					5,000		
	30年9月19日(水)パトリア日 高校、昭和学園高校の高校生等		崔			計	21,000	職員数	(人)			0.50		
	指標名(単位)	達成度	29年度 30年度	元年度	最終達成 (30年度)	評価 割合	指標名 (単位)	達成度	29年	度 30年度	元年度	最終達成 (年度		評価
		目標値	2		2			目標値						
活動指標	イベント実施回数(回)	実績値	2	2/	2	100%		実績値						
10 39 10 00		達成率	100.0	%	100.0%			達成率						la l
		目標値						目標値						a
		実績値						実績値						
		達成率						達成率		(人まし) 小米 加				

[3 事業の成果]

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

	指標名 (単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成 (30年度)	評価	事業の成果
成果指標	イベント総参加者数(人)	目標値 実績値 達成率		2,000 1,940 97.0%		2, 000 1, 940 97. 0%	a	国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会と連携し、イベントを開催し、県外から誘客(参加者の53%が県外から)できた他、SNS等を通じた情報発信を行うことができた。

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題

・芸術文化イベントを活用した誘客促進

今後の方向性

終了

継続・見直し

例外的に継続

廃止

今後の事業方針

・芸術文化によって地域の魅力を磨きあげることで、地域振興や観光誘客を促進